

2025年度（令和7年度）事業報告

一般社団法人全国腎臓病協議会（以下「全腎協」という。）は、透析医療を取り巻く環境の大きな変化の中、引き続き Web と対面を併用して事業を推進し、患者の視点に立った活動を展開しました。医療制度をめぐっては、国民皆保険制度を維持しつつ、現役世代の保険料負担の軽減に向けた医療費削減の議論が進められており、私たちが恩恵を受けている医療制度を守る運動は、これまで以上に重要となっています。

日本透析医学会の調査によれば、これまで増加してきた透析患者総数は2022年末に減少に転じ、その後も減少傾向にある一方で、高齢の透析導入患者は増加しており、腎臓病の重症化予防や透析患者の通院・介護対策の重要性が一層高まっています。また、透析医療機関の閉鎖や経営環境の厳しさが指摘される中、全腎協として人工腎臓の評価の引き上げを要望してきましたが、2026年度診療報酬改定では、人工腎臓の本体点数が引き下げられる一方で、腎代替療法診療体制充実加算が新設され、当該加算を算定できる場合には、実質的に点数が維持されることとなりました。また、近年注目されている腎疾患患者に対する緩和ケアについても診療報酬上の評価が行われ、臓器移植医療についても一定の前進がみられるなど、新たな取組が進められました。

国や学会などが主催する委員会などにおいて、患者当事者の視点が重視されるようになり、本年度も多く場で意見を述べる機会を得ました。「患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟（CKD 議連）」や、厚生労働省の要請により参加した国会議員有志による「腎疾患を軸に医療の未来を拓く会」の勉強会において、国会議員、厚生労働省、医療関係者との情報共有を図りました。また、製薬企業とも重症化予防に関する協働を行うなど、患者団体に期待される役割は着実に広がっています。

組織面では、会員減少が続く中で、加盟組織との連携のあり方や情報共有の重要性がこれまで以上に高まりました。こうした状況を踏まえ、デジタル化の活用を含めた効率的な運営の在り方について検討を進めるとともに、加盟組織との関係強化に努めました。また、組織を取り巻く課題を整理し、今後の持続可能な運営体制の構築に向けて、具体的な見直しを進めました。

また、災害時における透析医療の確保や医療提供体制の維持に向けた取組を進める中、年度末には中東情勢の影響により医療関連物資の供給への懸念が生じ、透析医療の継続に対する不安が広がる場面もみられました。透析医療は生命維持に不可欠な継続医療であることから、必要な医療関連物資の安定供給の確保と適切な情報発信の重要性が改めて認識され、全腎協としても関係機関との連携を図りながら対応を進めました。

定款に定める目的を達成するため、以下のとおり事業を実施しました。

腎臓病の予防及び治療に関する知識の普及と啓発事業

1) 全国組織としてのアピールと連携・資質向上のための事業

(1) 全腎協シンポジウムと研修会の開催

各都道府県患者会が直面する組織問題を中心とする諸課題について情報を共有し、課題の解決の糸口を見つけるための場とするとともに、現在課題となっているテーマについて講演が行われた。

日 時 11月22日（土）・23日（日）

場 所 アワーズイン阪急（東京都品川区）

参加者 全国加盟組織代表他 53 名

内 容

加盟組織による組織運営の成功事例発表、組織対策委員会、通院介護委員会、災害対策委員会、広報委員会からは現状について課題の発表を行なった。日本透析医会の太田圭洋副会長からは「2026 年度診療報酬改定」についてご講演いただいた。

患者会運営の実態と課題についてグループ討論と発表を行った。

（2）全国青年研修会

青年層患者の青年層の QOL を高めること目的として研修会を開催した。

日 時 8 月 24 日（日）

会 場 Zoom による Web 会議

参加者 全国加盟組織の青年層他 25 名

内 容

講演「しっかり透析のヒケツ」

講師 医療法人清水会 かわせみクリニック院長 鈴木一之 先生

2）組織の維持、運営のための事業

（1）定時社員総会の開催（定款第 17 条及び定款施行細則第 4 条）

日 時 6 月 21 日（土）・22 日（日）

場 所 アワーズイン阪急（東京都品川区）

出席者 全国加盟組織代表及び全腎協役員 55 名

内 容 2024 年度事業報告及び決算報告他を行った。

（2）理事会の開催（定款第 39 条及び定款施行細則第 13 条）

日時、場所・方法

第 45 回通常理事会	4 月 12 日	Zoom による Web 会議
-------------	----------	-----------------

第 32 回臨時理事会	6 月 7 日	Zoom による Web 会議
-------------	---------	-----------------

第 33 回臨時理事会	6 月 21 日	アワーズイン阪急
-------------	----------	----------

第 46 回通常理事会	9 月 6 日	Zoom による Web 会議
-------------	---------	-----------------

第 34 回臨時理事会	12 月 6 日	Zoom による Web 会議
-------------	----------	-----------------

第 47 回通常理事会	1 月 17 日・18 日	アワーズイン阪急
-------------	---------------	----------

第 48 回通常理事会	3 月 14 日	Zoom による Web 会議
-------------	----------	-----------------

出席者 理事及び監事

議 題 定期的議題、報告及び臨時緊急に必要な議題等を協議した。

（3）各委員会の開催（定款第 57 条及び定款施行細則第 16 条）

① 中長期運営検討委員会

本委員会が担当した国会請願の取り組み、2026 年度の事業計画、予算策定における経費削減のための資料作成を行った。

② 組織対策委員会

入会促進ツールの作成、全腎協シンポジウムの企画、当該委員会所掌の助成金申請審査を行った。

委員会 6 回開催（Zoom による Web 会議）

4 月 19 日 2026 年ブロック活動費について他

5 月 31 日 三重県腎友会事務局訪問報告他

8 月 10 日 特区チャレンジ事業審査他

11 月 1 日 新規会員募集キャンペーン「マンガ本」について他

12 月 20 日 次年度事業計画等

2 月 22 日 2026 年度入会者促進リーフレットについて他

③ 通院介護委員会

通院介護支援事業について「通院介護支援事業への助成」「ボランティア運転講習会講師派遣についての助成」は廃止、「ボランティア運転講習会への助成」は継続とし、「通院介護支援事業およびボランティア運転講習会への助成金支出基準について」を改定した。2026 年度（令和 8 年度）腎疾患総合対策に関する予算要望について検討した。

「ボランティア運転講習会助成金」については 3 件の審査を文書で行なった。

委員会 2 回開催（Zoom による Web 会議）

5 月 20 日 通院介護支援事業の基本方針について

11 月 18 日 シンポジウム資料、次年度予算・事業

④ 社会保障委員会

厚生省予算要望への対応、企業との連携、関係団体との懇談、当該委員会所掌の助成申請審査を行った。

委員会 1 回開催（Zoom による Web 会議）およびメールによる審議

10 月 23 日 2026 年度社会保障委員会予算(案)について

厚生労働省への要望活動

6 月 3 日 腎疾患総合対策に関する要望

11 月 18 日 人工腎臓の評価の引き上げに関する要望

患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟（CKD 議連）

5 月 20 日 腎疾患総合対策について

8 月 26 日 令和 7 年度の CKD 議連のテーマについて事務局との打合わせ

12 月 9 日 診療報酬・介護報酬改定について

日本透析医会との懇談

8 月 5 日 災害対策、診療報酬に関する情報共有

3 月 6 日 2026 年度診療報酬に関する改定について

日本看護管理学会への協力

11 月 22 日 『ペイシェントハラスメント』について講師出席

1 月 14 日 『看護師のためのペイシェントハラスメント』

刊行にあたり査読・研修での講演内容掲載

企業等の活動への参加

- ・日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 WEB9 回・対面 2 回
アドバイザー契約 CKD 医療講演会(プレスセミナー)
電車中刷り広告作成協力
- ・小野薬品工業株式会社 アドバイザー契約 CKD 関連 WEB3 回
- ・キッセイ薬品工業株式会社 社員研修講師 WEB2 回・対面 1 回
- ・帝京平成大学 障害福祉講座 WEB 参加

加盟組織への講師派遣

- ・2 月 7 日 九州ブロック下期会議 in 長崎 社会保障関連の講師

他団体との連携

- ・7 月 6 日 多発性嚢胞腎財団日本支部(PKDFCJ) 患者交流会 in 岡山参加

⑤ 災害対策委員会

全腎協シンポジウムの災害対策委員会報告(案)について、2016 年以降未改訂の災害対策マニュアルについて見直しを行い、ホームページ掲載を前提にメールで協議しながら 2 年以内の完成を目指すこととした。

災害見舞金申請については、44 件の審査を文書で行なった。

委員会 1 回開催 (Zoom による Web 会議)

8 月 30 日 災害対策マニュアルの見直しについて

⑥ 青年委員会

青年研修会の企画運営、各ブロック青年研修交流会の促進をした。

青年ブロック研修・交流会の企画をした。

委員会 2 回開催 (Zoom による Web 会議)

8 月 17 日 青年研修会 最終打ち合わせ

1 月 25 日 2025 年度 予算・事業計画(案)

⑦ 広報委員会

会報「ぜんじんきょう」の充実と広報体制の刷新に注力した。誌面では現役世代の声や長期透析者、施設送迎、緩和ケア等の特集を企画・検証し、読者投稿の改称や音声機能の拡充等で視認性とアクセスの向上を図った。財政面および地方の負担軽減を考慮し、次年度からの年 4 回(3 ヶ月に 1 回)発行への移行を決定した。それに伴う広告料金の据え置きや、ホームページを核に発信体制を整備した。さらに、会報のデジタル化(PDF・デジタルブック)に向けた実証実験の実施や配信方法の検討など、次世代の広報基盤の構築を進めた。

委員会 4 回開催 (Zoom による Web 会議)

5 月 9 日 ぜんじんきょう記事について

8 月 7 日 ぜんじんきょう 11 月発行内容検討

10 月 22 日 ぜんじんきょうの発行回数等

1. 腎臓病患者の自立を支援する事業

1) 各種助成事業（詳細は別紙参照）

(1) ブロック活動費事業

ブロック活動費交付要領に基づき 8 ブロックに 3,337,034 円を交付した。

(2) 特区チャレンジ事業助成事業

特区チャレンジ事業助成金要領に基づき、組織拡大に寄与する先駆的な事業 20 件に 1,724,707 円を助成した。

(3) 離島僻地対策助成事業

離島へき地対策助成金要領に基づき 2 件、22,070 円を助成した。

(4) 通院介護等支援事業

ボランティア運転講習会への助成金支出基準に基づき 2 件、144,800 円を助成した。

(5) 医療・福祉・栄養相談会・慢性腎臓病(CKD)講演会等助成事業

医療・福祉・栄養相談会・慢性腎臓病(CKD)講演会等助成金支出要領に基づき、12 件、990,720 円を助成した。

(6) 臓器移植推進啓発助成事業

臓器移植推進啓発事業助成金要領に基づき 13 件、536,166 円を助成した。

(7) 青年委員会ブロック活動助成事業

全腎協青年委員会ブロック活動への助成金支給基準に基づき 2 件、18,000 円を助成した。

(8) 周年記念事業への助成事業(10 周年毎・50 周年)

周年記念事業への助成支出要領に基づき 4 件、600,000 円を助成した。

2) 災害見舞金の支給（詳細は別紙参照）

見舞金規定に基づき、石川県 2 件、秋田県 1 件、合計 3 件に対して 110,000 円支給した。

3) 組織強化事業

(1) 特区チャレンジ事業（再掲）

(2) 会員拡大のための事業

入会促進リーフレットを 15,000 万部作成し、各都道府県組織に配布した。

4) 腎臓病に関する無料相談の実施等

(1) 専門家（医療ソーシャルワーカー、管理栄養士、認定心理士）による電話相談事業を実施した。

生活・福祉相談件数（担当：医療ソーシャルワーカー）	65 件
栄養・食事相談件数（担当：管理栄養士）	42 件
こころの相談件数（担当：認定心理士）	23 件

(2) 事務局相談担当者による相談事業を実施した。

事務局電話による相談件数 307 件

メール・対面等による相談件数 73 件

(3) 関係団体等の研修会、研究会への参加（一部リモート会議に参加）し、各専門相談員との連携の強化と諸課題を共有した。

2. 腎臓病に関する調査研究と政策提言

1) 国会請願活動

私たちの掲げる「国民を腎疾患から守る総合対策」の早期実現のための最重点要望事項を、憲法に定められた請願権に基づき第 55 次請願として国会へ提出した。

日 時：2026 年 3 月 19 日 10 時 30 分～16 時 30 分

会 場：参議院議員会館（講堂）

紹介議員数：174 名

請願署名数：270,405 筆

募金額：1,121,352 円

2) 担当各省庁への対応

(1) 担当各省庁への要望

私たちの医療、福祉、通院、介護等に関する法令等事項、予算等事項、施策等事項を関係省庁に要望した。

- ・ 「2026 年度予算腎疾患総合対策に関する要望書」2025 年 5 月 20 日
- ・ 「人工腎臓透析用剤、血液凝固阻止剤、高リン血症治療剤及び活性型ビタミン D3 製剤の安定供給確保についてお願い」2025 年 8 月 4 日
- ・ 「2026 年度診療報酬改定に関する要望書」2025 年 11 月 18 日
- ・ 「臓器移植に関わる要望」（臓器移植推進連絡協議会）2026 年 3 月 10 日
- ・ 「中東情勢に伴う透析医療に必要な医療関連物資等の安定供給に関する要望」
2026 年 3 月 31 日

(2) 厚生労働省等

- ・ 厚労省がん疾病対策課 緩和ケアについての打ち合わせ 2025 年 10 月 30 日
- ・ 厚労省腎疾患政策事業 CKD 予防啓発会議 第 1 回 2025 年 6 月 9 日
第 2 回 2025 年 7 月 1 日

3) 加盟組織要望事業の支援

加盟組織が行う関係自治体、医療団体等への要望活動を支援した。

4) 議連等の参加

- ・ 患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟（CKD 議連：自民党）
- ・ 腎疾患を軸に医療の未来を拓く会（自民党）

5) 医療福祉関係団体活動への積極的参加

(1) 学会への参加

- ・ 一般社団法人日本透析医学会「末期腎不全の緩和ケアに関する提言作成委員会」委員
- ・ 腎臓リハビリテーション学会「ガイドライン作成委員会」外部評価委員

(2) 関係団体への役員派遣等

- ・ 一般社団法人日本難病・疾病団体協議会 (JPA)
- ・ 特定非営利活動法人日本障害者協議会 (JD)
- ・ 公益財団法人日本透析医会 血液透析患者実態調査検討ワーキンググループ
- ・ 日本臓器移植ネットワーク (団体会員)

(3) その他

- ・ 国民医療推進協議会 (日本医師会等 43 団体 会長：日本医師会会長)

3. 広報誌の発行及びホームページの運営等の広報事業

1) 会報「ぜんじんきょう」の発行

年6回、年間総発行部数は322,235部

2) 声の会報

年6回、視覚障害者等を対象に会報「ぜんじんきょう」を音声化したCDを配布した (年間579枚)。

3) 書籍の発行・頒布

「透析をはじめの人のためのガイドブック」「腎臓病患者の社会保障ガイドブック」等腎臓病患者の生活の向上に役立つ書籍の頒布をした。

4) ホームページの活用

患者会の活動をはじめ腎臓病についての全般的な情報のほか、腎臓病に関する講演会などの開催情報など随時掲載した。

5) ニュースレター等での情報発信

障害者施策、介護保険、医療保険制度、その他制度改定等に対応した内容についてメールを中心に会員・患者へ情報発信するとともにホームページにも掲載した (「全腎協ニュースレター」発行6回)。

4. 腎臓病患者を支援する基金事業 (再掲)

5. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 事務局運営

- (1) 各種事業運営にかかる事務処理
- (2) 事務局維持にかかる業務

(3) 役員報酬等にかかる管理

2) 資産管理を含む財務運営の適正化、赤字予算、基金の見直し等を含む資産の適正化